

# 第10課 列舉：やら～やら・というか～というか・にしても～にしても／にしろ／にせよ・といった

第10課對應《新完全マスター N2》第1部「I ことがらを説明する」的第10課，主題是「列舉、並列多項事物」。N3 學過 ～や、～とか 這類簡單的列舉；本課再加入四個更有語感的並列講法：把多件令人心煩的事一口氣排出來的 ～やら～やら、不確定該怎麼形容而並列兩種說法的 ～というか～というか、列舉兩個例子但結論一樣的 ～にしても～にしても／～にしろ～にしろ／～にせよ～にせよ，以及舉出代表性例子的 ～といった。

## ■ 今課目標

- 用 ～やら～やら 把多件混在一起、令人心煩或忙亂的事並列出來。
- 用 ～というか～というか 並列兩種說法，表達「該說...還是該說...」的猶豫。
- 用 ～にしても～にしても／～にしろ～にしろ／～にせよ～にせよ 列舉兩個例子，說明結論都一樣。
- 用 ～といった 舉出一兩個代表性例子，概括同一類的事物。

## 一、～やら～やら：又...又... (列舉令人心煩的事)

### ■ 把混亂、忙碌的事一口氣排出來

～やら～やら 把同一類的詞並列起來，強調「事情很多、亂成一團、還沒整理好」。說話人多用來表達「無法明確說清楚」「事情多到很煩、很累」的心情，常帶混亂或無奈的語感。

### ■ 形式規則

名詞／動詞辭書形／イ形容詞 + やら (～やら～やら)。把同一類的詞並列；多用於表達混亂、忙亂或心煩。

## ■ 例句

1. 引っ越しの日は、荷造りするやら掃除するやらで、一日中休む暇もなかった。  
→ 搬家那天又要打包又要打掃，一整天連休息的空檔都沒有。(動詞辭書形)
2. 財布を落としたときは、焦るやら情けないやらで、頭が真っ白になった。  
→ 弄丟錢包的時候，又著急又覺得自己沒用，腦袋一片空白。(動詞+イ形容詞)
3. 子供部屋には、おもちゃやら脱いだ服やらが散らかっていた。  
→ 兒童房裡散落著玩具啦、脫下來的衣服啦，亂七八糟。(名詞)
4. 年末は忘年会やら大掃除やらで、毎日が慌ただしい。  
→ 年底又是尾牙又是大掃除，每天都忙得團團轉。(名詞)

## 二、～というか～というか：該說...還是該說...

### ■ 並列兩種說法，拿不定該怎麼形容

～というか～というか 並列兩種說法，表達「要形容同一件事，這樣說也行、那樣說也行，但哪個更貼切說不太準」。常用來描述複雜、難以一語道盡的人或狀況。

### ■ 形式規則

普通形（ナ形容詞・名詞去た）＋ というか（～というか～というか）。並列兩種對同一狀況的說法；表達難以斷定哪個更貼切。

## ■ 例句

1. 彼の話し方は、正直というか遠慮がないというか、聞いていてはらはらする。  
→ 他講話的方式，該說是直率還是該說是不懂客氣，聽著總讓人捏一把汗。(ナ形容詞・イ形容詞)
2. あの店の味は、独特というか変わっているというか、一度食べたら忘れられない。  
→ 那家店的味道，該說是獨特還是該說是與眾不同，吃過一次就忘不了。(ナ形容詞・動詞)
3. 初めて舞台上に立ったときは、緊張というか興奮というか、自分でもよくわからない気持ちだった。  
→ 第一次站上舞台時，該說是緊張還是該說是興奮，連自己也說不清是甚麼心情。(名詞)

## 三、～にしても～にしても・～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ：無論...還是...

### ■ 列舉兩個例子，結論都一樣

這三組形意思相同，列舉同一類的兩個例子（或意思相反的兩個例子），表達「不管是哪一個，結論都一樣」。後句多接說話人的判斷或主張。～にしろ／～にせよ 比 ～にしても 更書面、鄭重，意思不變。

### ■ 形式規則

名詞／動詞辭書形・ない形 + にしても・にしろ・にせよ（兩個並列）。列舉同類或相反的兩例；後句多接判斷或主張。～にしろ／～にせよ 較書面。

### ■ 例句

1. 進学するにしても就職するにしても、早めに準備を始めたほうがいい。  
→ 無論是升學還是就業，都最好早點開始準備。（動詞辭書形）
2. 賛成するにしろ反対するにしろ、理由をはっきり述べてください。  
→ 無論贊成還是反對，都請把理由說清楚。（動詞辭書形）
3. 行くにせよ行かないにせよ、今日中に返事をしなければならない。  
→ 不管去還是不去，今天之內都必須回覆。（辭書形・ない形，意思相反的兩例）
4. 社員にせよアルバイトにせよ、規則は守ってもらいます。  
→ 無論是正式員工還是兼職，都要請大家遵守規則。（名詞，書面）

## 四、～といった：...之類的（舉例）

### ■ 舉出代表性例子，概括同一類

～といった 舉出一兩個代表性的例子，再用後面的名詞把它們概括成同一類，意思是「...之類的...」。常和前面的～や、～とか 搭配使用，先排幾個例子，再用～といった 收尾。

### ■ 形式規則

名詞（可多個，常配～や・～とか）+ といった + 名詞。舉出代表性例子，再用後面的名詞概括成同一類。

## ■ 例句

1. 納豆や梅干しといった発酵食品は、体にいいと言われている。  
→ 納豆、梅乾之類的發酵食品，據說對身體有益。(配 ~や)
2. テニスとか水泳といった有酸素運動は、健康にいいそうだ。  
→ 網球、游泳之類的有酸素運動，據說對健康有益。(配 ~とか)
3. このアプリでは、地震や台風といった災害の情報をすぐに確認できる。  
→ 在這個應用程式上，可以馬上查到地震、颱風之類的災害資訊。
4. 面接では、長所や短所といった定番の質問をされることが多い。  
→ 面試時經常被問到優點、缺點之類的常見問題。

## 五、常見錯誤與總整理

### 四個列舉表達的分別

句型	核心意思	語感／特徵
～やら～やら	又...又...，並列多項	混亂、忙亂、心煩；無法明確說清
～というか～というか	該說...還是該說...	並列兩種說法，拿不定哪個更貼切
～にしても／にしろ／にせよ	無論...還是...，結論都一樣	列舉兩例；後接判斷，にしろ／にせよ較書面
～といった	...之類的（舉例概括）	舉代表例＋名詞收尾，常配 や・とか

## ■ 常見錯誤

- **×** 毎日仕事やら家事で忙しい。  
○ **毎日仕事やら家事やらで忙しい。**  
～やら 要成對使用（～やら～やら），把多項並列出來，不能只出現一次。
- **×** 彼は親切やら優しいやらだ。  
○ **彼は親切というか優しいというか、頼りになる人だ。**  
並列兩種「說法」、拿不定哪個更貼切時用～というか～というか；～やら～やら是把多項心煩的事排出來。
- **×** 進学にしても就職にしても、まだ何も決めていない。  
○ **進学するにしても就職するにしても、まだ何も決めていない。**  
動詞要用辭書形+にしても（進学する）；名詞才直接+にしても。
- **×** 京都や奈良というところには寺が多い。  
○ **京都や奈良といったところには寺が多い。**  
舉例後用名詞概括成同一類時用～といった；～という 只用來「叫做…」地稱呼單一名稱。
- **×** りんごといったくだものが好きです。  
○ **りんごやみかんといったくだものが好きです。**  
～といった 通常先列兩個以上的例子（常配 や・とか），再用名詞概括，單一一個例子語感不自然。

自己輸出：用 やら～やら・というか～というか・にしても～にしても／にしろ／にせよ・といった 各寫一句。可寫一段忙亂的日子、一個難以形容的人，或一類你喜歡的食物。

---

---

---

---

---